
苦勞人な勇者と自重しないパーティー

茂吉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

苦勞人な勇者と自重しないパーティー

【Nコード】

N5283N

【作者名】

茂吉

【あらすじ】

少し運が悪い高校生である主人公が、ある日突然「当選」して異世界へと飛ばされ、おかしなパーティー達とともに魔物や胃痛と戦う異世界冒険ファンタジー？小説です。

―第一章― 始まり、それは当選と共に（前書き）

初投稿になります、文章力のなさが目立つと思いますのでご了承ください。

―第一章― 始まり、それは当選と共に

俺の名前は加藤隼人^{かとうはやと}

現在高校二年生を謳歌中の普通の高校生である。

普通とは言っても、成績は下の中だったり、少しオタクだったりしてひどいスペックだけだね・・・

でもまあ、たぶん普通の範囲内だと思う、思いたい・・・

家族も、別に人外だったりするわけじゃなくちゃんと人間だ。

うん、我ながら普通すぎてつまらんプロフィールだ。

しかしながら、どうやら不思議なことというのはいっ起きるかわからんものようだ。

例えば、目の前に羽を生やした子供が浮いてるとか、ね・・・

「オーメデトウ!!」

ぼちぼち寝ようと電気を消しかけたときに、なんか目の前に出やがった・・・

「幸運にも、あなたは当選しました!」

ああ、これは夢か・・・

「畏れ多くもこの神みずかr・・・って、聞してる?」

今寝るところだと思ってたらもう寝てみたいだな。

「夢じゃないよ?」

こんなのが現実のわけじゃないか。人が羽生やして浮いてるんだぜ?

「僕は神なんだから不思議じゃないよ?」

神とか・・・うん、間違いなく夢だ、そくに違いない。

「とりあえず話を聞いてよ」

そろそろ起きるか、どうせ夢だs「パンチ」グハあ・・・?

痛いだと?神はこの過酷過ぎる現実を受け入れろと?

「神は僕だけだね」

百歩ゆずってお前が神だとしよう、

ならなんで俺なんかのところにきたんだ？

「最初から言ってるじゃないか、当選したんだよと・う・せ・ん！」
だから、何にだよ？

「言ってなかったっけ？異世界で勇者になれる権利だよ。」

なるほど、何かはわかった。

だが断る！！

「えゝ、神に向かつて拒否権発動？まあ、無理にとは言わないけどね・・・」

ん？強制かと思っただが、意外と人の話も聞いてくれるもんだな。

「・・・じゃあ、君は明日死ぬ方向でゝ」

え？酷くね？断ったら死ぬとか。

ほぼ強制じゃねえか・・・

「別に死ぬと言ってるわけじゃないよ？ただね、君の命日が明日なんだよねゝ」

そんな偶然あつてたまるか！

「もちろん偶然じゃないよゝ。明日が君の命日だから僕が迎えにきたんだよ？」

つまりは、待っていてくれたと？

「うん、そう、優しいでしょ？」

・・・で、もし断ったとしたら、明日俺はどんなふうになんた？

「えゝとねえ、確か、なぜか空から金だらいが落ちてきて頭を直撃、打ち所が悪くてそのままぼっくり・・・」

そんな古いギャグ漫画みたいな死に方するのかよ！？

死因が金だらいとか・・・浮かばれる気がしねえよ・・・

「でも大丈夫だよ、この権利を受けいれるだけでそんな運命も覆せるよ！」

・・・なんか悪魔に見えてきたな

「神だから大丈夫だよ、で、どうするの？」

甘んじて、受け入れさせてもらいます。

「おや？急に協力的になったね？」

そりゃ、たらいで死ぬよりやましだろうから・・・

・・・というわけで、俺はその自称神の当選とやらを受け入れたわけだ。

そのせいで、どんなことに巻き込まれるかも知らずに・・・。

―第一章― 始まり、それは当選と共に（後書き）

改めて始めまして、作者の茂吉というものです。

初投稿故に、文脈がおかしかったところなどがあればご指摘お願い
したいです。

また、意見・感想等お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5283n/>

苦勞人な勇者と自重しないパーティー

2010年10月9日22時03分発行